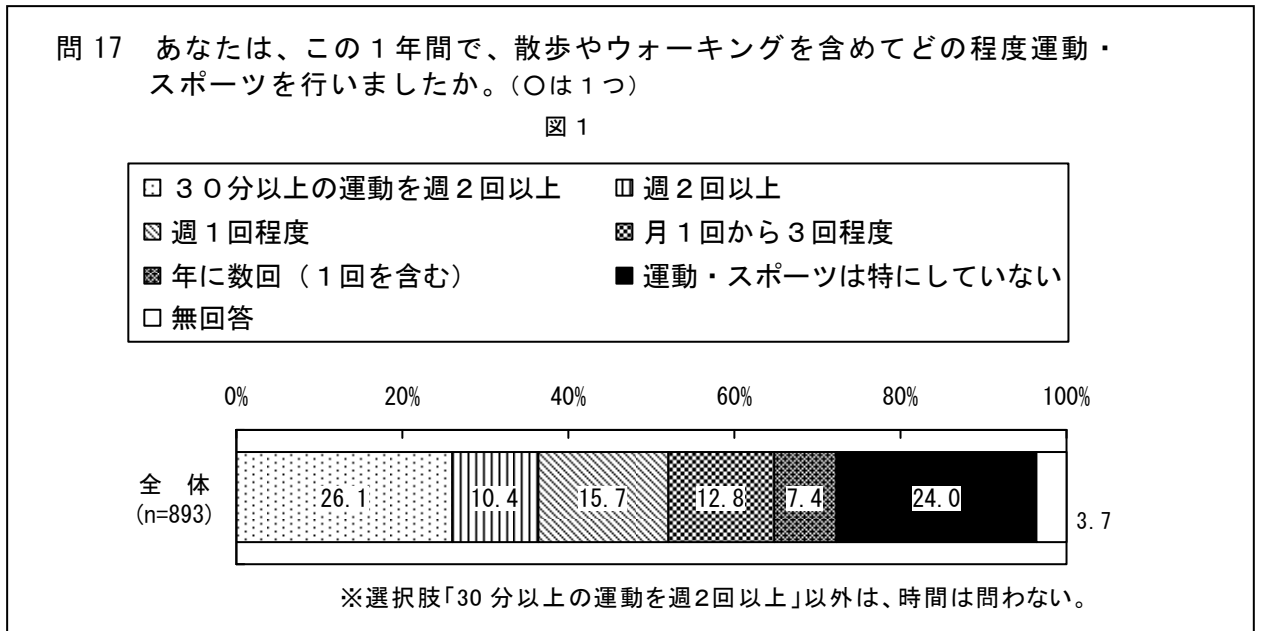


### 参考資料 3：千代田区民世論調査の結果等

平成24年度に実施しました千代田区世論調査のうち、「生涯スポーツ環境づくり」に関する部分について、調査結果とその分析を掲載します。

#### (1) 最近1年間の運動・スポーツの実施状況

◇「30分以上の運動を週2回以上」が2割台半ばを超えている。

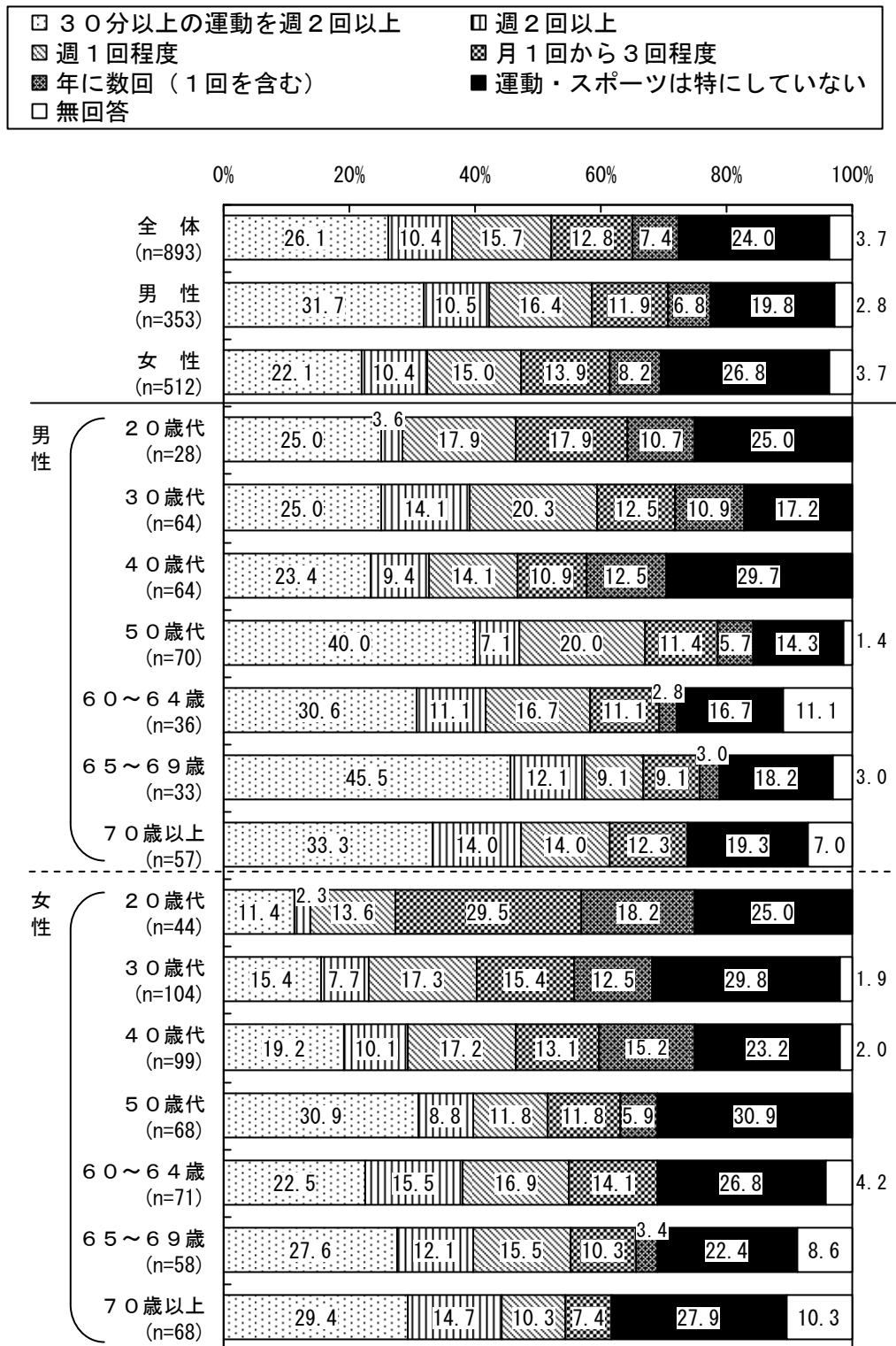


この1年間に行った運動・スポーツの頻度について尋ねたところ、「30分以上の運動を週2回以上」(26.1%)が2割台半ばを超えて最も割合が高い。一方、「運動・スポーツは特にしていない」(24.0%)は2割台半ば近くとなっている。(図1)

性別にみると、「30分以上の運動を週2回以上」は男性(31.7%)が女性(22.1%)より9.6ポイント高く、「運動・スポーツは特にしていない」は女性(26.8%)が男性(19.8%)より7.0ポイント高い。

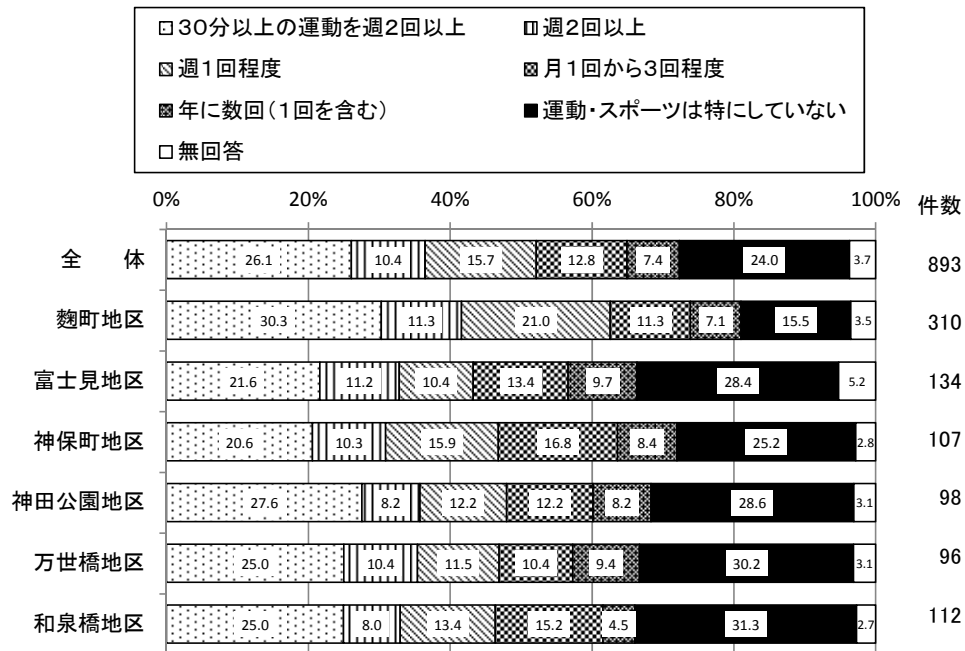
性・年代別にみると、「30分以上の運動を週2回以上」は男性65~69歳(45.5%)、50歳代(40.0%)が4割台で割合が高いが、女性20歳代は11.4%と低い。(図2)

図2 この1年間に行った運動・スポーツの頻度(性・年代別)



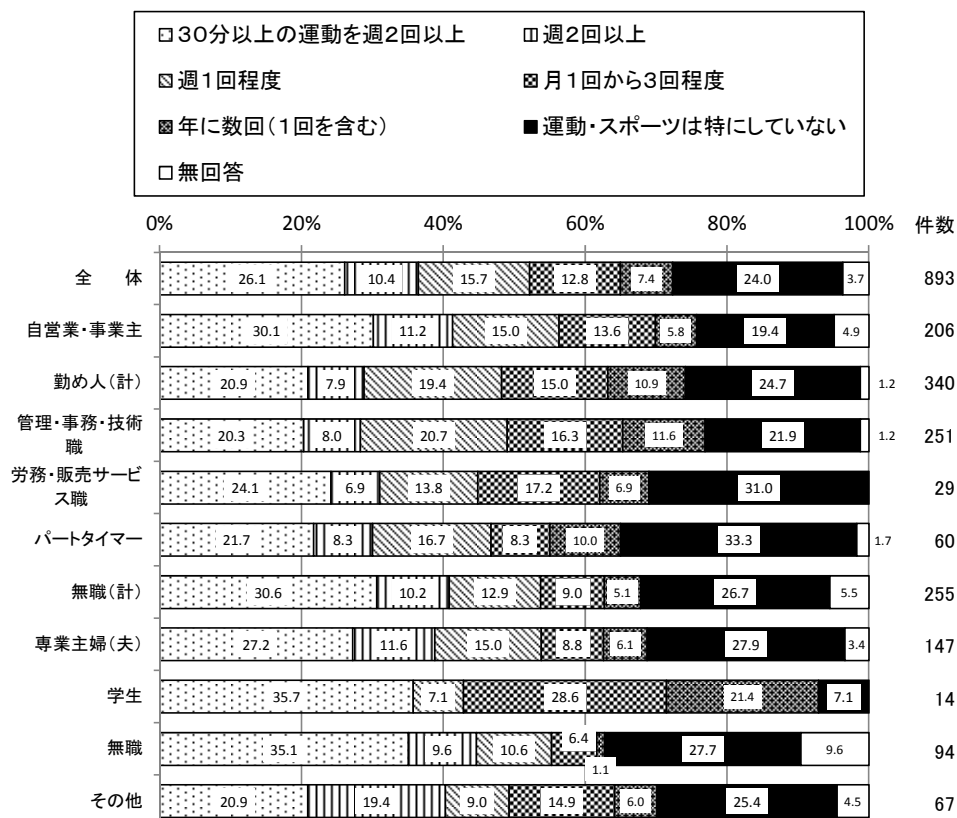
地区別にみると、麴町地区で「30分以上の運動を週2回以上」(30.3%)、「週1回程度」(21.0%)が多く、「運動・スポーツは特にしていない」が15.5%と少ないのが特徴的である。(図3)

図3 この1年間に行った運動・スポーツの頻度(地区別)



職業別にみると、「30分以上の運動を週2回以上」は学生(35.7%)と無職(35.1%)で多くなっている。(図4)

図4 この1年間に行った運動・スポーツの頻度(職業別)



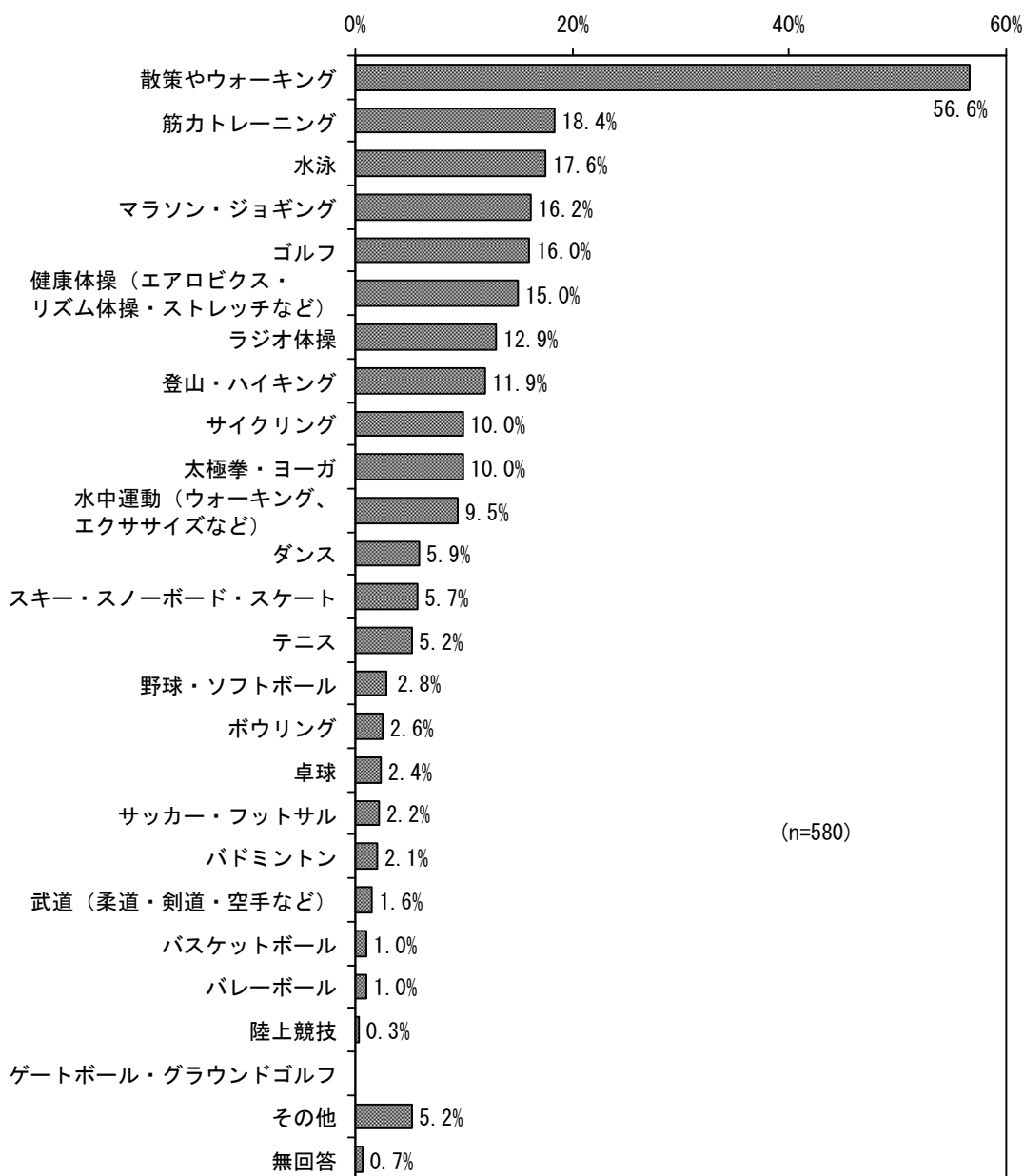
(1-1) 1年間に行った主な運動・スポーツ

◇「散策やウォーキング」が5割台半ばを超えて、特に多い。

(問17で「1」～「4」とお答えの方に)

問17-1 あなたが、この1年間に行った主な運動・スポーツは何ですか。(〇は3つまで)

図5



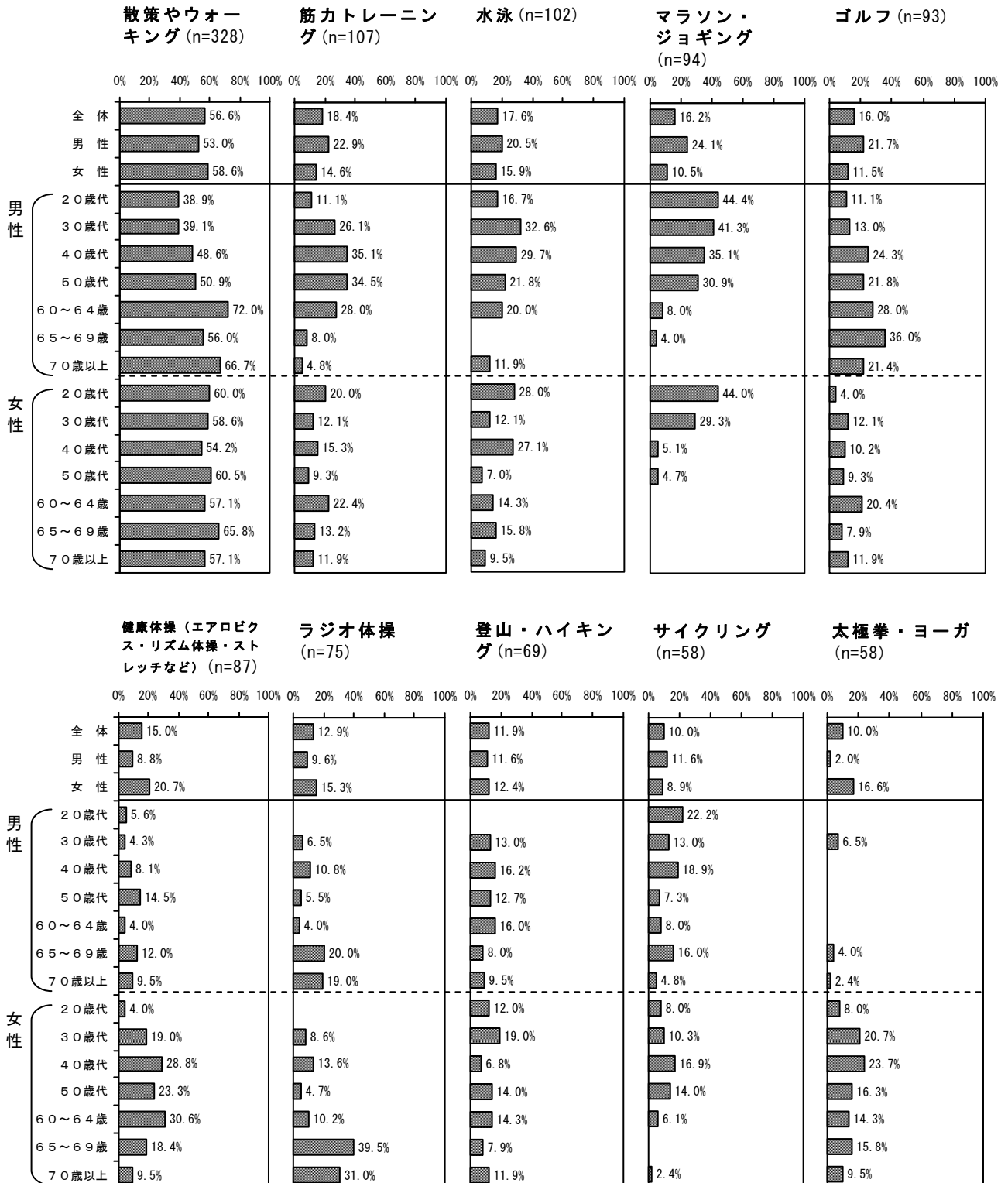
※3つ以上を選択した回答者がいたので、複数回答で集計

この1年間に運動・スポーツを「30分以上の運動を週2回以上」、「週2回以上」、「週1回程度」、「月1回から3回程度」行ったことがある人に、行った運動・スポーツについて尋ねた。「散策やウォーキング」(56.6%)が5割台半ばを超えて際立って割合が高く、以下「筋力トレーニング」(18.4%)、「水泳」(17.6%)、「マラソン・ジョギング」(16.2%)、「ゴルフ」(16.0%)、「健康体操(エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」(15.0%)と続くが、いずれも2割以下となっている。(図5)

性別にみると、「マラソン・ジョギング」は男性(24.1%)が女性(10.5%)より13.6ポイント高く、「太極拳・ヨーガ」は女性(16.6%)が男性(2.0%)より14.6ポイント高い。

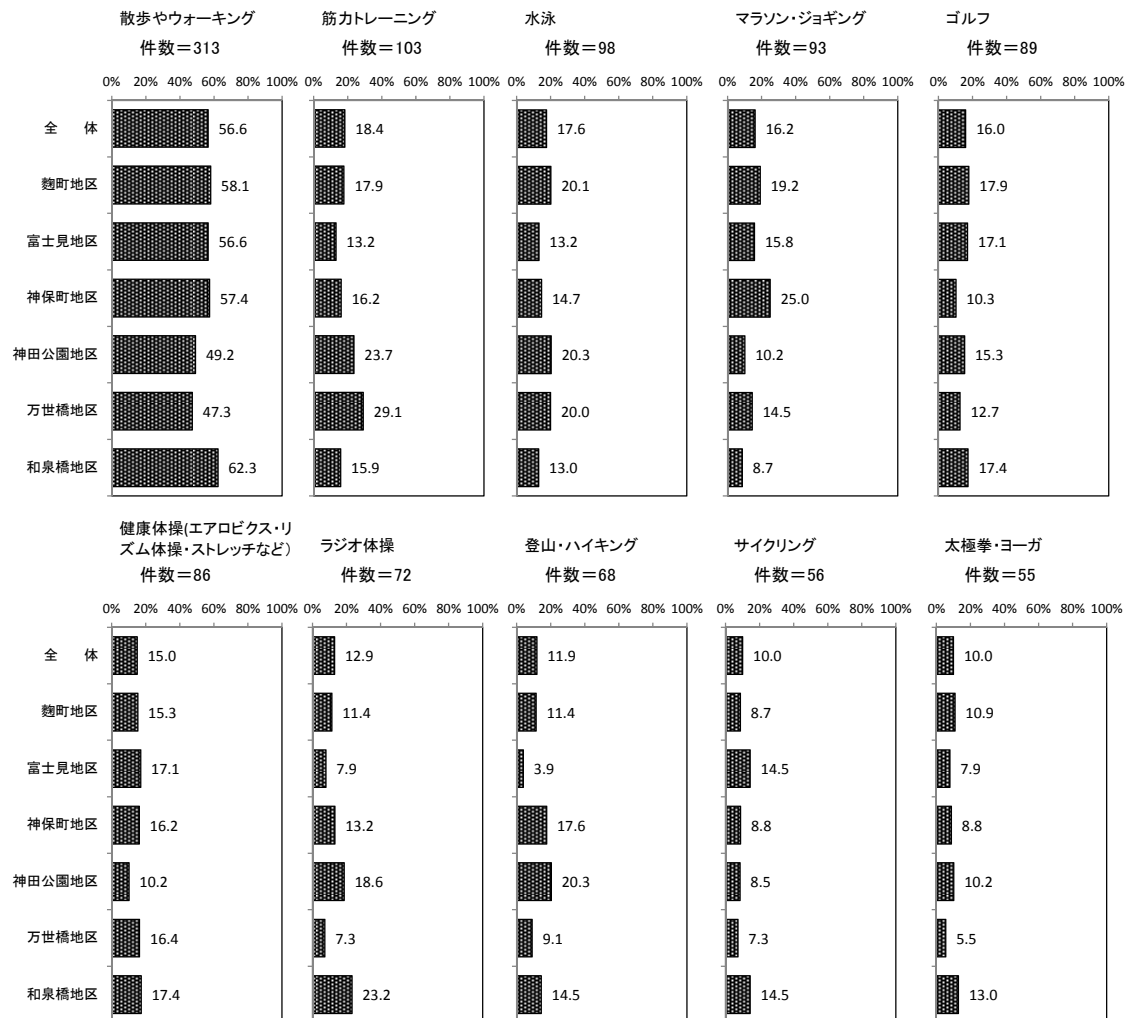
性・年代別にみると、「散策やウォーキング」は男性60～64歳(72.0%)が7割強で割合が最も高いが、男性30歳代以下は3割台と低い。(図6)

図6 この1年間に行った主な運動・スポーツ(性・年代別)ー上位10運動・スポーツー



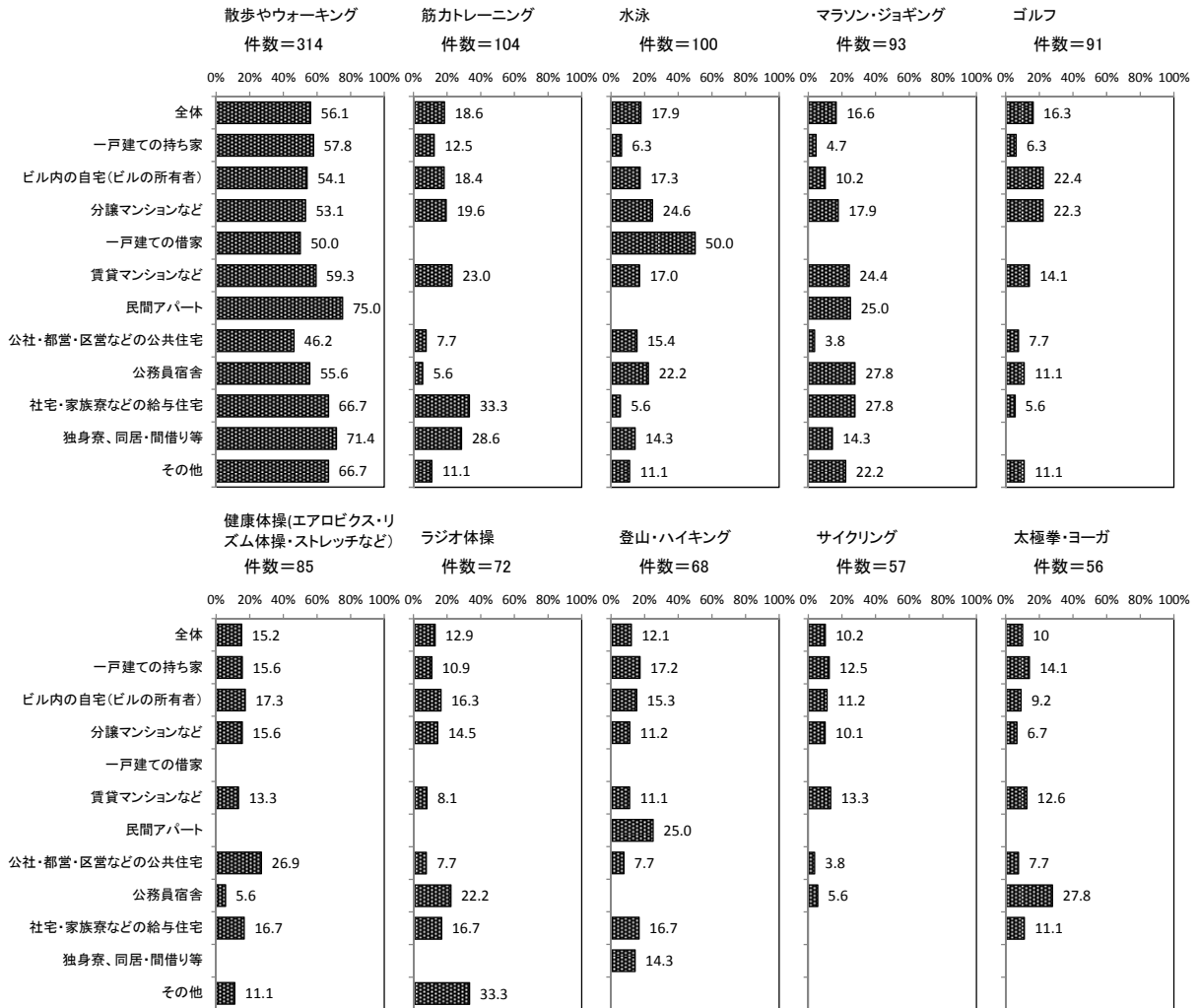
地区別にみると、「散歩やウォーキング」が神田公園地区(49.2%)、万世橋地区(47.3%)で少なく、逆に「筋力トレーニング」は両地区が相対的に多くなっている。また、「マラソン・ジョギング」は神保町地区(25.0%)で多い。(図7)

図7 この1年間に行った主な運動・スポーツ(地区別)ー上位10運動・スポーツー



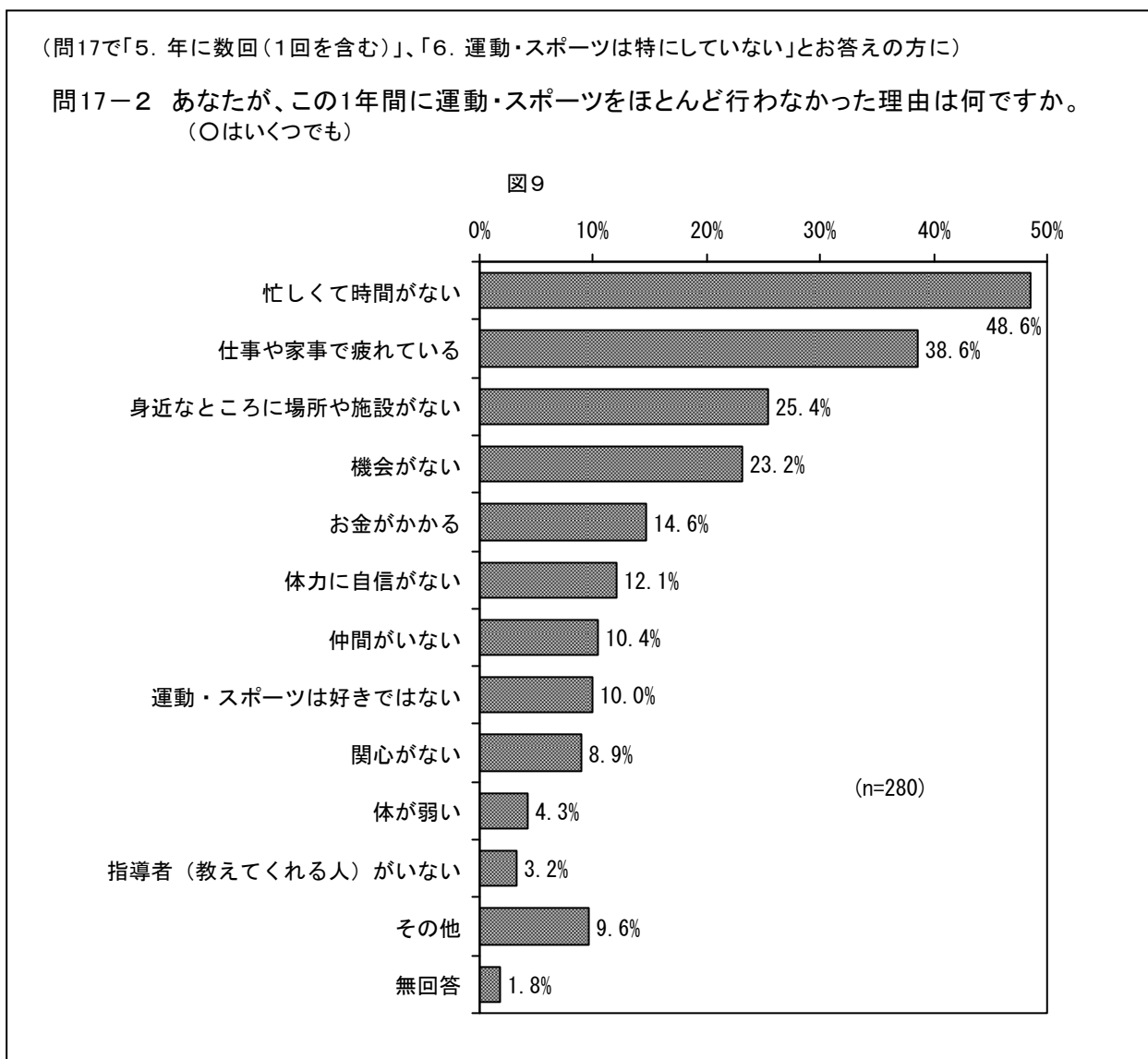
住居形態別にみると、「水泳」は一戸建ての借家(50.0%)で多くなっている。(図8)

図8 この1年間に行った主な運動・スポーツ(住居形態別別)－上位10運動・スポーツ－



(1-2) 1年間に運動・スポーツを行わなかった理由

◇「忙しくて時間がない」が5割近く。



この1年間に運動・スポーツを「年に数回(1回を含む)」、「運動・スポーツは特にしていない」と回答した人に、運動・スポーツを行わなかった理由を尋ねた。

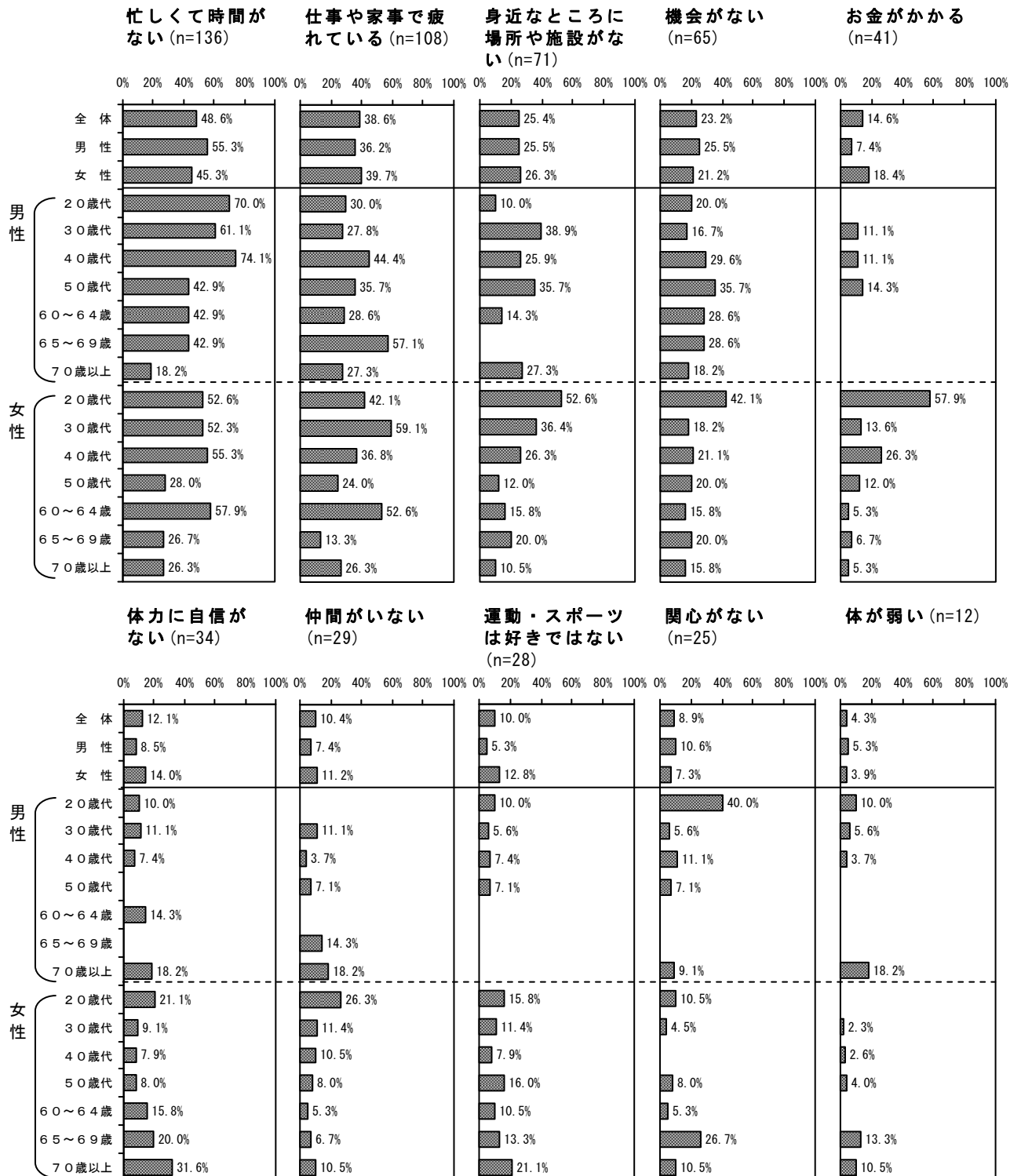
「忙しくて時間がない」(48.6%)が5割近くで最も割合が高く、以下「仕事や家事で疲れている」(38.6%)、「身近なところに場所や施設がない」(25.4%)、「機会がない」(23.2%)と続く。(図9)



性別にみると、「忙しくて時間がない」は男性(55.3%)が女性(45.3%)より 10.0 ポイント高く、「お金がかかる」は女性(18.4%)が男性(7.4%)より 11.0 ポイント高い。

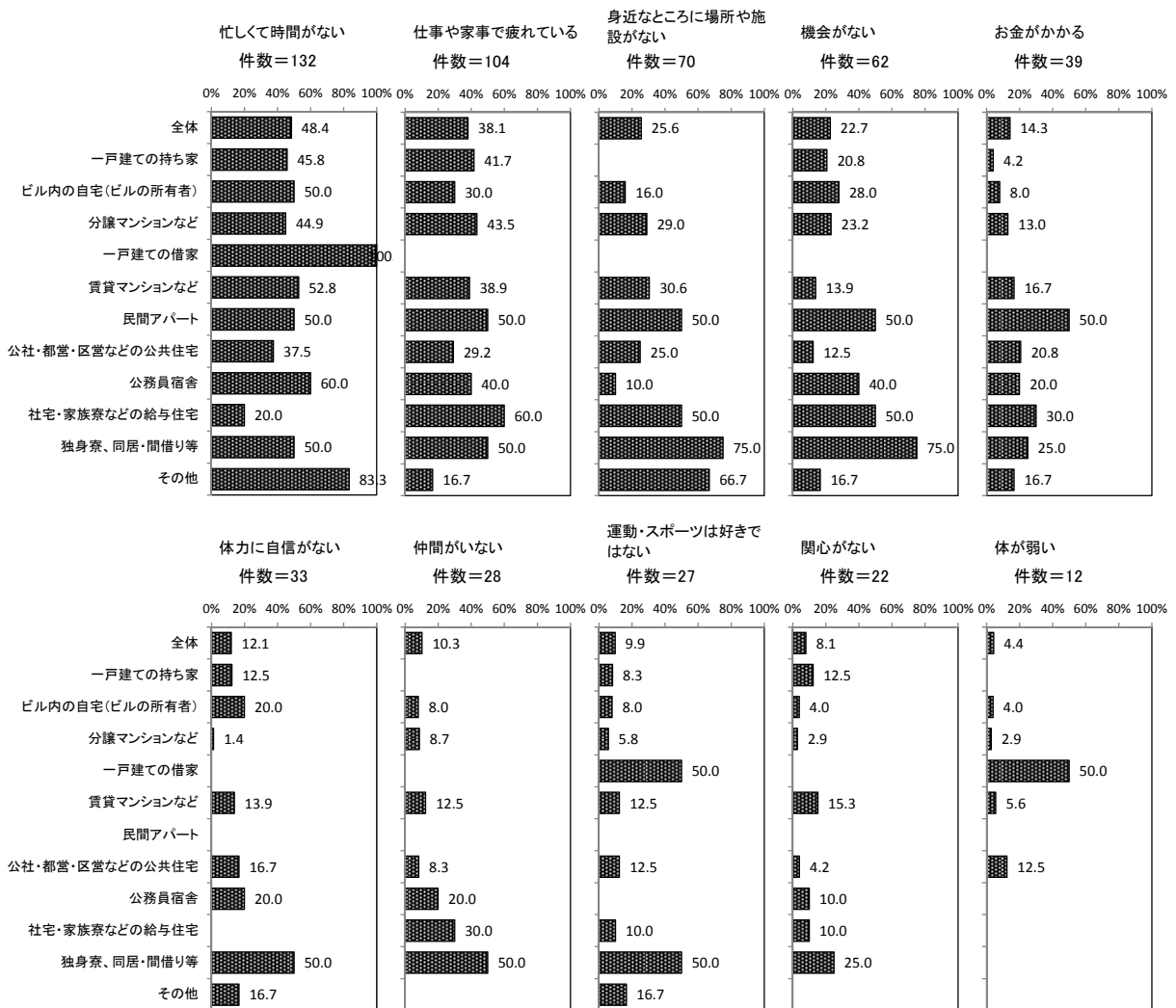
性・年代別にみると、「忙しくて時間がない」は男性 40 歳代(74.1%)、20 歳代(70.0%)が7割台、「仕事や家事で疲れている」は女性 30 歳代(59.1%)、男性 65~69 歳(57.1%)、女性 60~64 歳(52.6%)、「身近なところに場所や施設がない」は女性 20 歳代(52.6%)、「お金がかかる」は女性 20 歳代(57.9%)が5割台で割合が高い。(図 10)

図 10 この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由(性・年代別)-上位 10 項目-



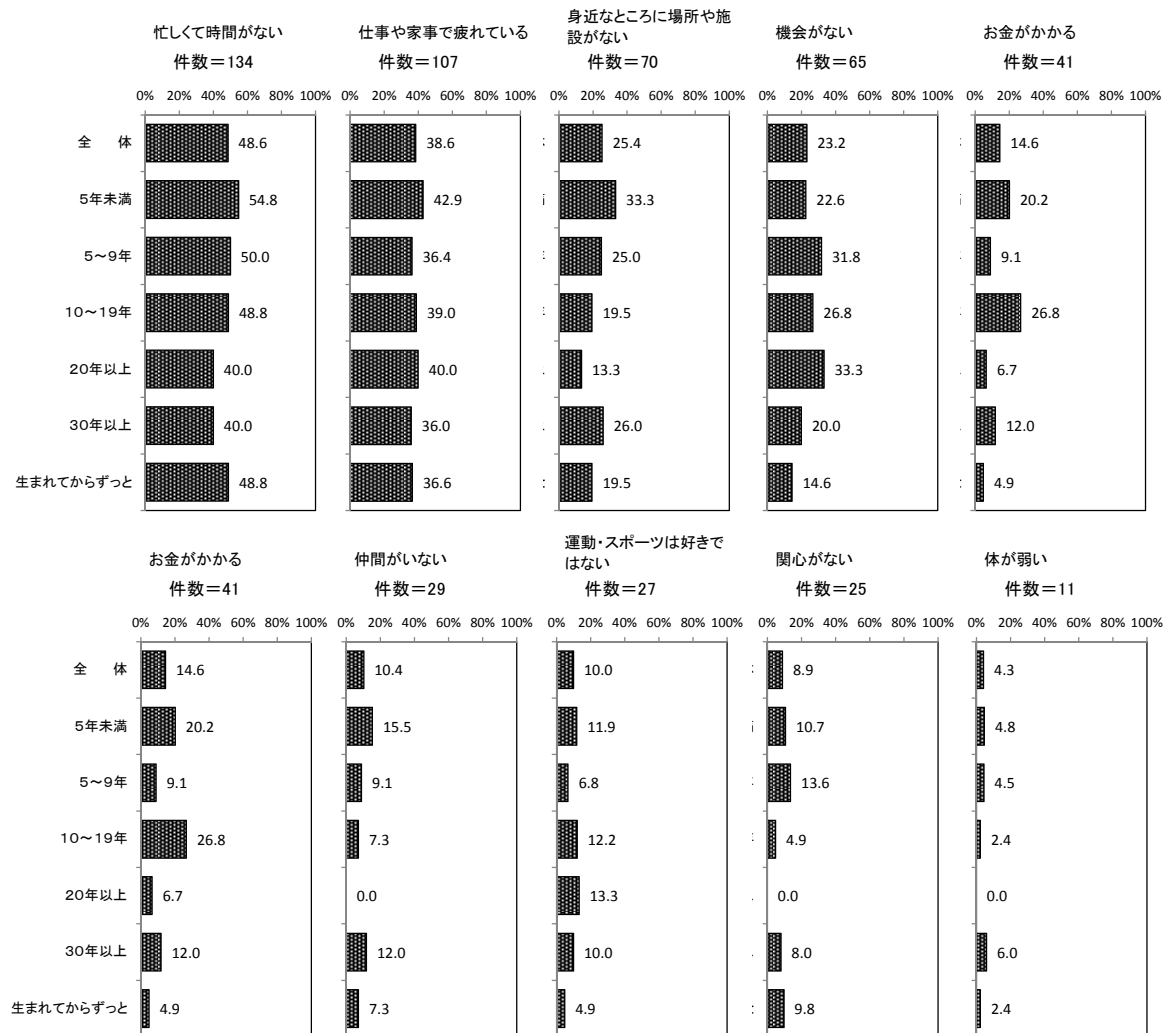
住居形態別にみると、「忙しくて時間がない」は一戸建ての借家で 100%となっている。「身近なところに場所や施設がない」、「機会がない」は独身寮、同居・間借り等でそれぞれ 75%と多い。(図 11)

図 11 この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由(居住形態別)-上位 10 項目-



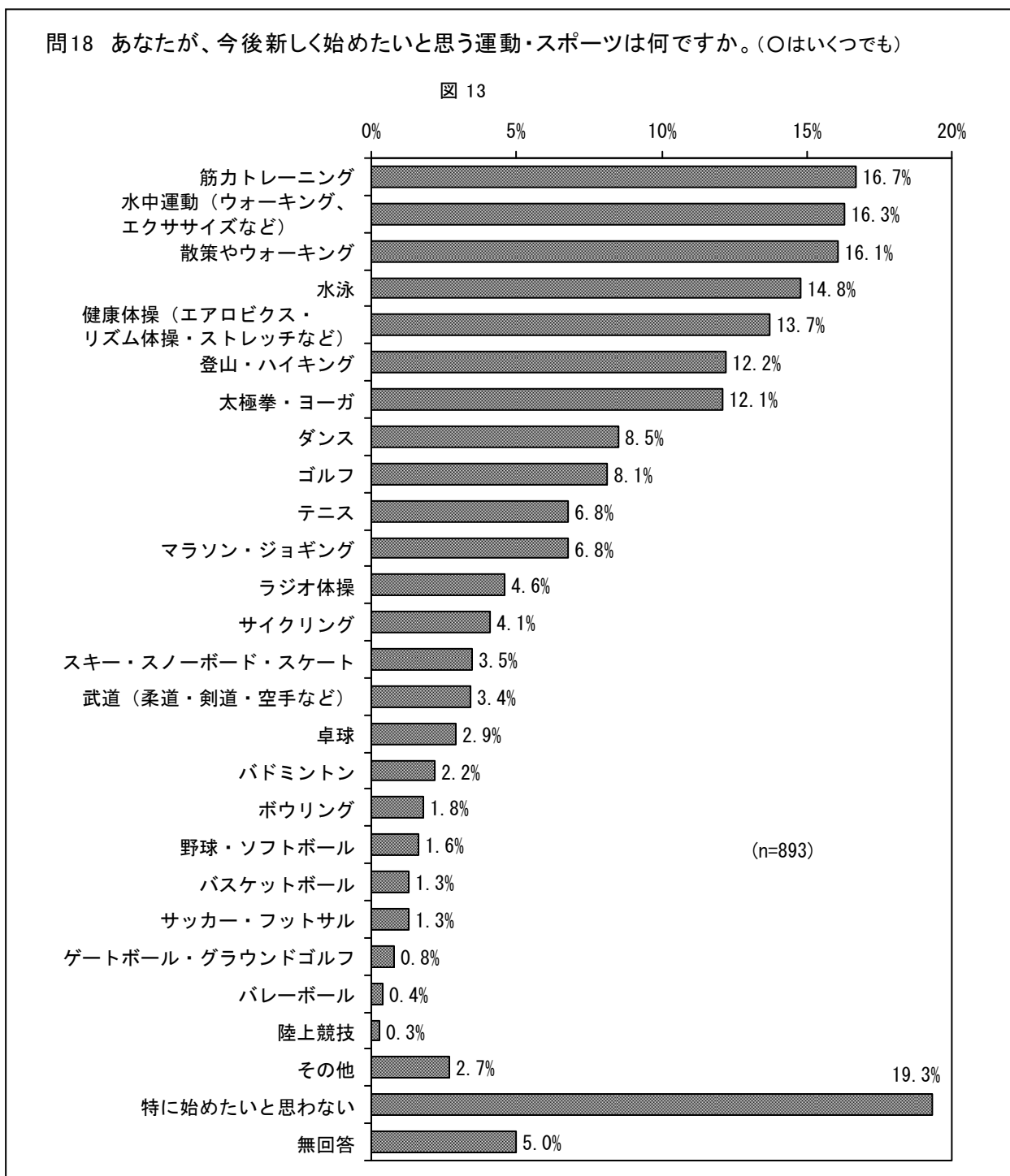
居住年数別にみると、「忙しくて時間がない」は20年以上(40.0%)、30年以上(40.0%)の居住者で相対的に少なくなっている。また、「お金がない」で10～19年の居住者が26.8%と多い。(図12)

図12 この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由(居住年数別)-上位10項目-



(2) 今後新しく始めたいと思う運動・スポーツ

◇「筋カトレーニング」、「水中運動」、「散策やウォーキング」が1割台半ばを超えている。



今後新しく始めたいと思う運動・スポーツは、「筋カトレーニング」(16.7%)、「水中運動(ウォーキング、エクササイズなど)」(16.3%)、「散策・ウォーキング」(16.1%)が1割台半ばを超えている。一方、「特に始めたいと思わない」(19.3%)は2割弱となっている。(図 13)

性別にみると、「特に始めたいと思わない」割合(「IV 調査結果の数表」のP225の集計結果参照)は男性(24.4%)が女性(14.6%)より9.8ポイント高く、男性より女性のほうが今後新しく始めたいと思う運動・スポーツを挙げている割合が高い傾向がみられ、「健康体操(エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」(13.3ポイント差)、「太極拳・ヨーガ」(11.4ポイント差)、「水中運動(ウォーキング、エクササイズなど)」(10.0ポイント差)は10ポイント以上の差がある。

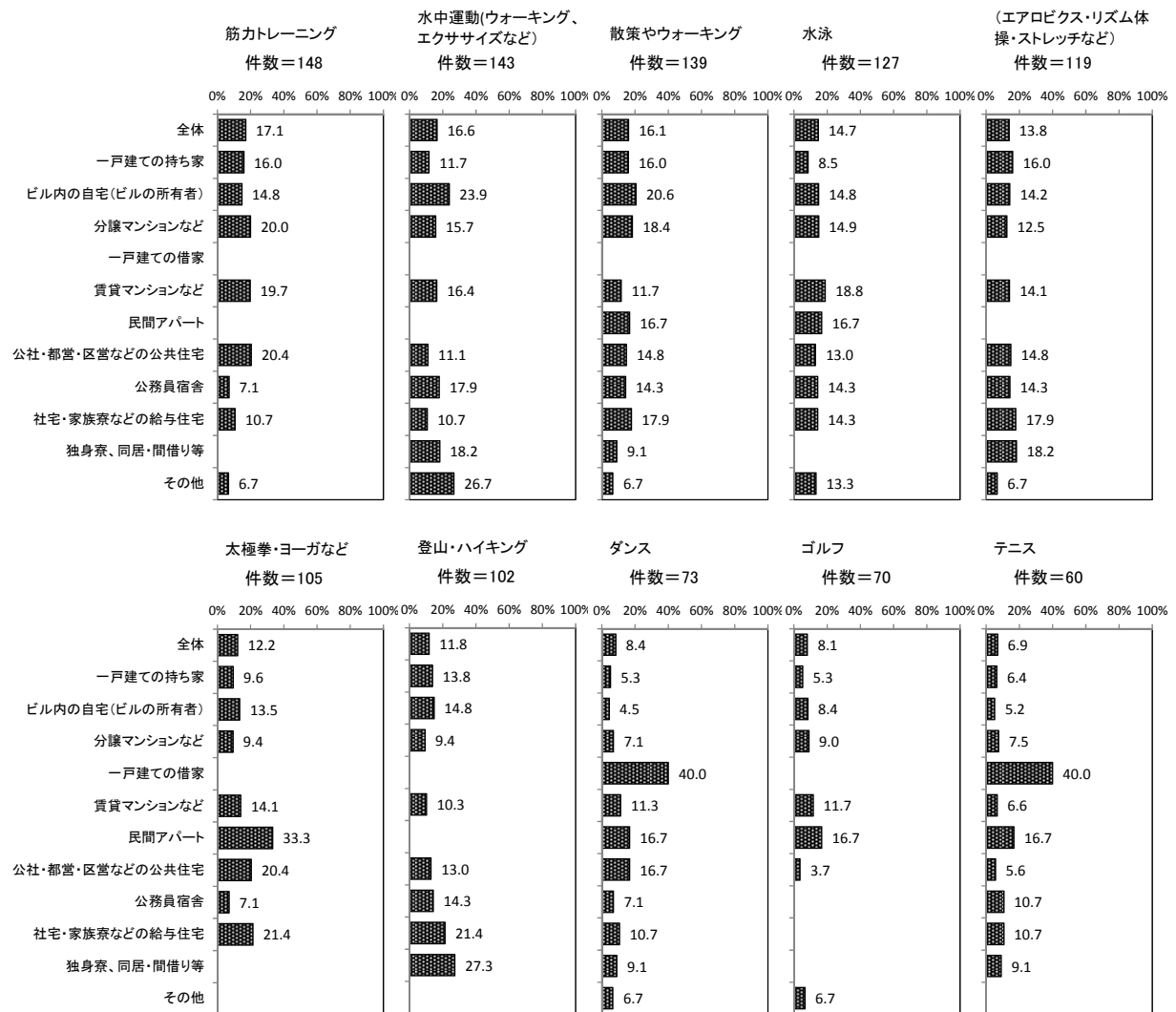
性・年代別にみると、「筋力トレーニング」は男性40歳代(35.9%)が3割台半ばで割合が高い。(図14)

図14 今後新しく始めたいと思う運動・スポーツ(性・年代別)-上位10運動・スポーツ-



住居形態別にみると、「ダンス」と「テニス」で一戸建ての借家が40.0%を占めているほかは、顕著な差はみられない。（図15）

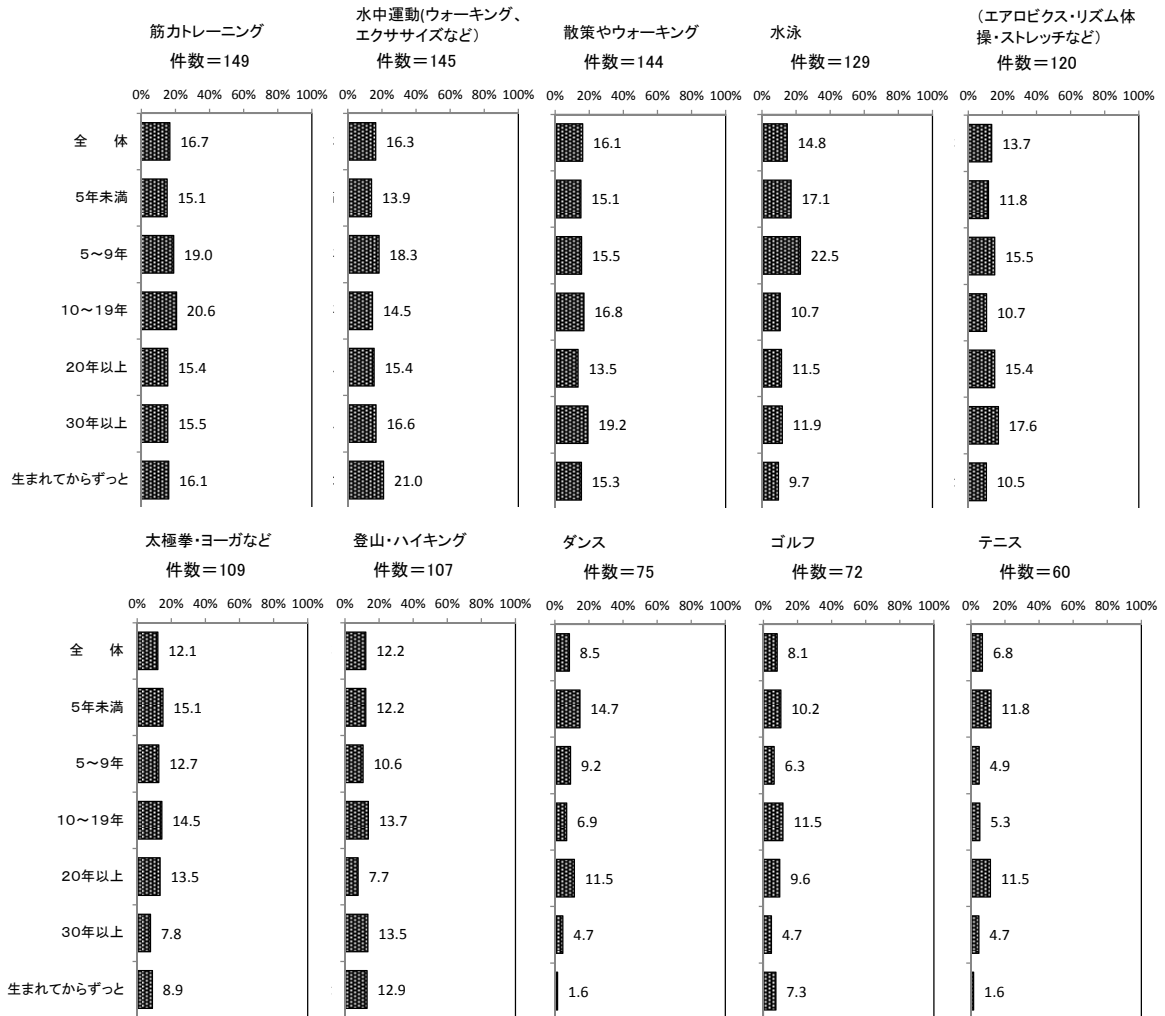
図15 今後新しく始めたいと思う運動・スポーツ(住居形態別)-上位10運動・スポーツ-



居住年数別にみると、顕著な差はみられないが、「水泳」で5～9年の居住者で22.5%と多くなっている。

(図16)

図 16 今後新しく始めたいと思う運動・スポーツ(居住年数別)-上位 10 運動・スポーツ-

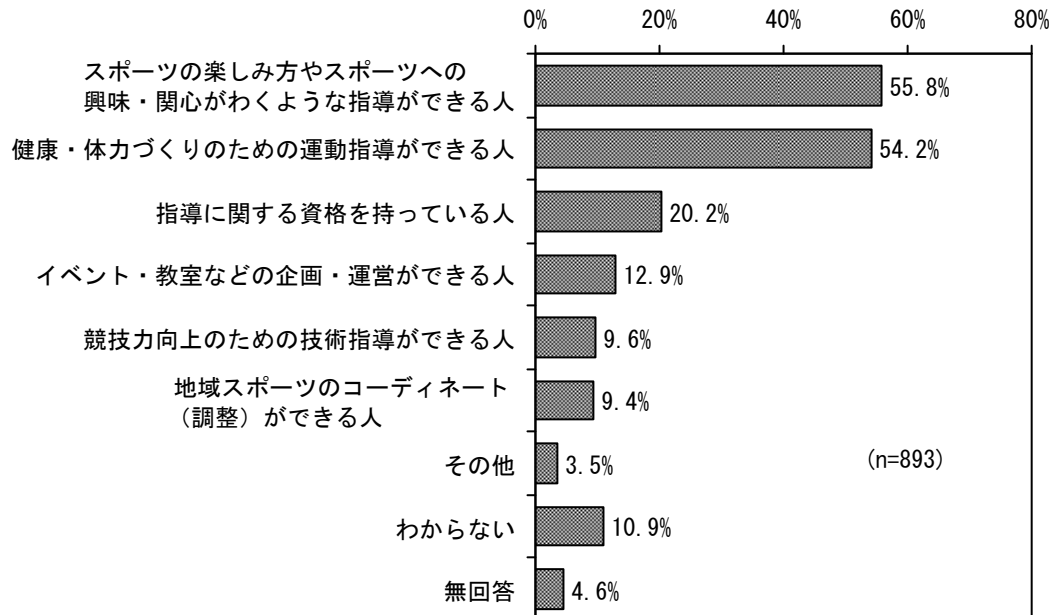


(3) 運動やスポーツを行うにあたって必要なスポーツ指導者

◇「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」、  
「健康・体力づくりのための運動指導ができる人」が5割台。

問19 あなたは、運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図 17



※3つ以上を選択した回答者がいたので、複数回答で集計

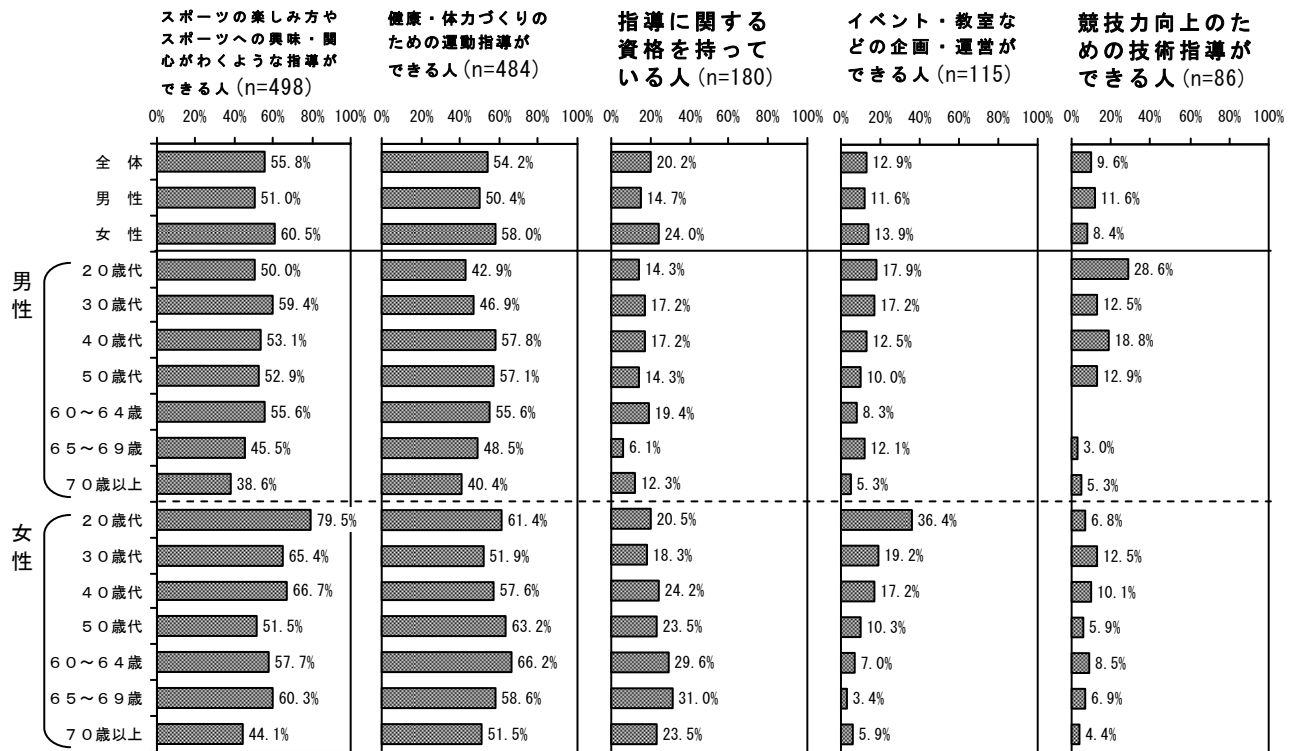
運動やスポーツを行うにあたって、どのような指導者が必要か尋ねたところ、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」(55.8%)、「健康・体力づくりのための運動指導ができる人」(54.2%)が5割台で割合が高い。(図 17)



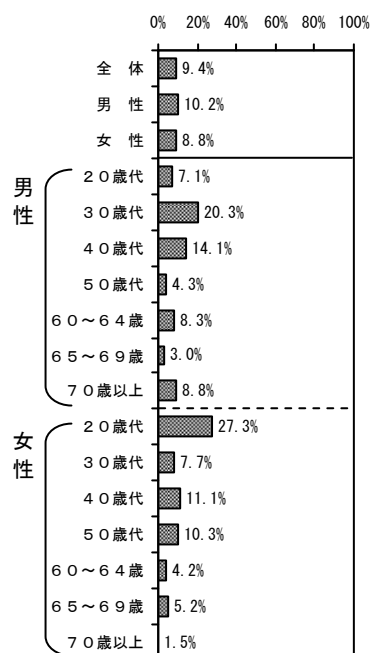
性別にみると、「指導に関する資格を持っている人」は女性(24.0%)が男性(14.7%)より9.3ポイント高い。

性・年代別にみると、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」は女性20歳代(79.5%)が8割弱で割合が高い。(図18)

図18 運動やスポーツを行う際の指導者に必要なこと(性・年代別)

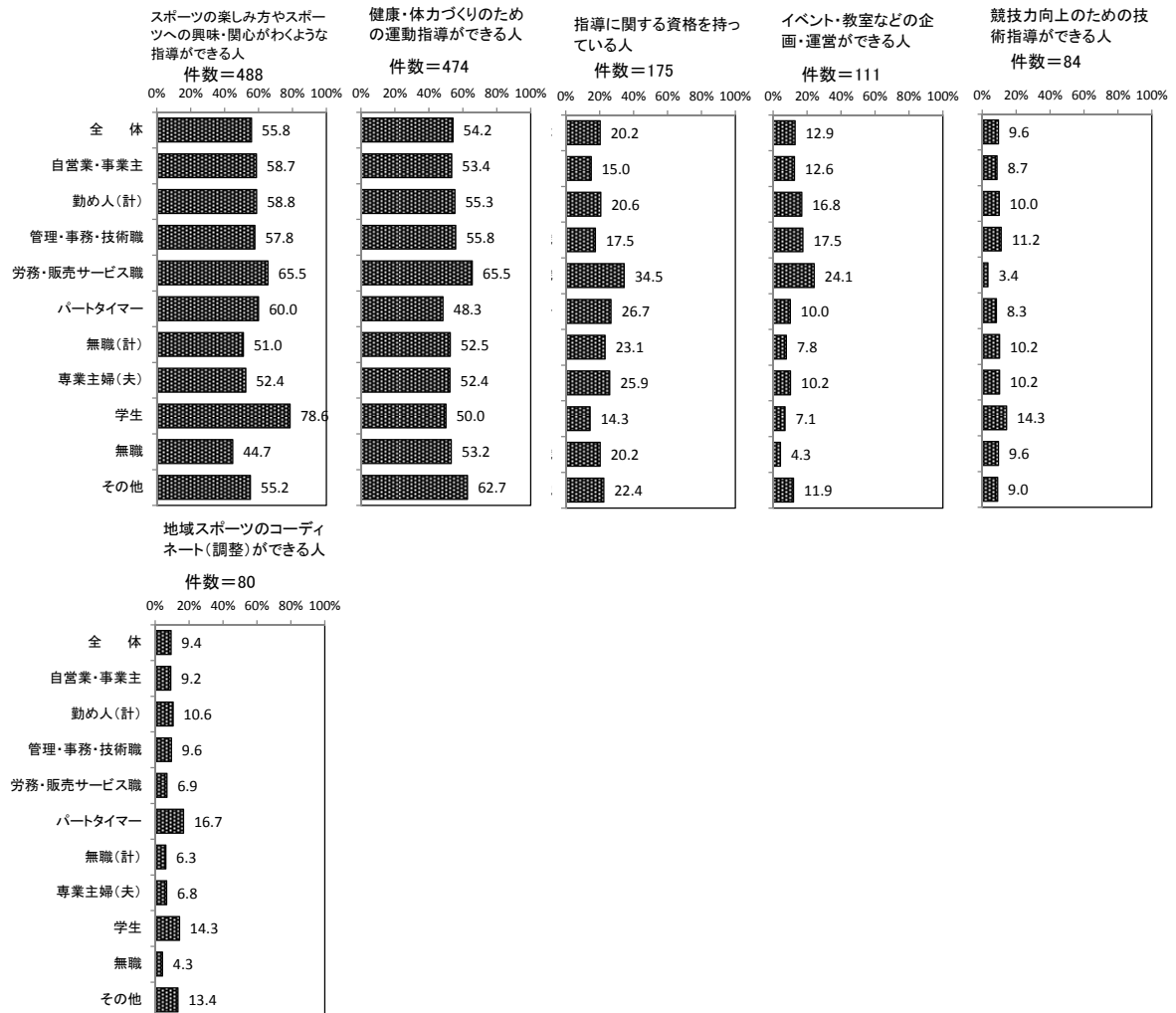


地域スポーツのコーディネーター(調整)ができる人 (n=84)



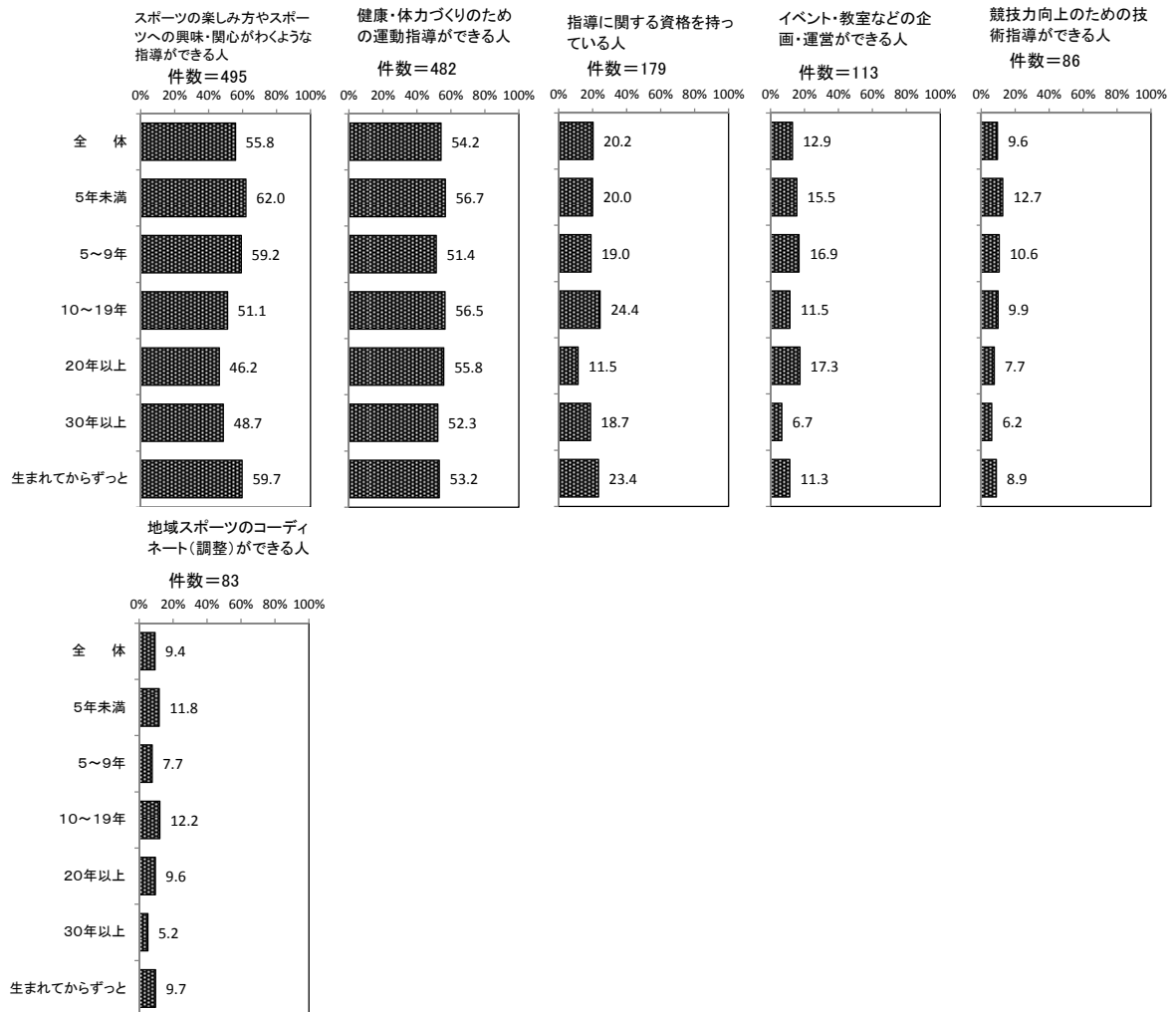
職業別にみると、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」は学生(78.6%)で多くなっており、「健康・体力づくりのための運動指導ができる人」は労務・販売サービス(65.5%)が多い。(図 19)

図 19 運動やスポーツを行う際の指導者に必要なこと(職業別)



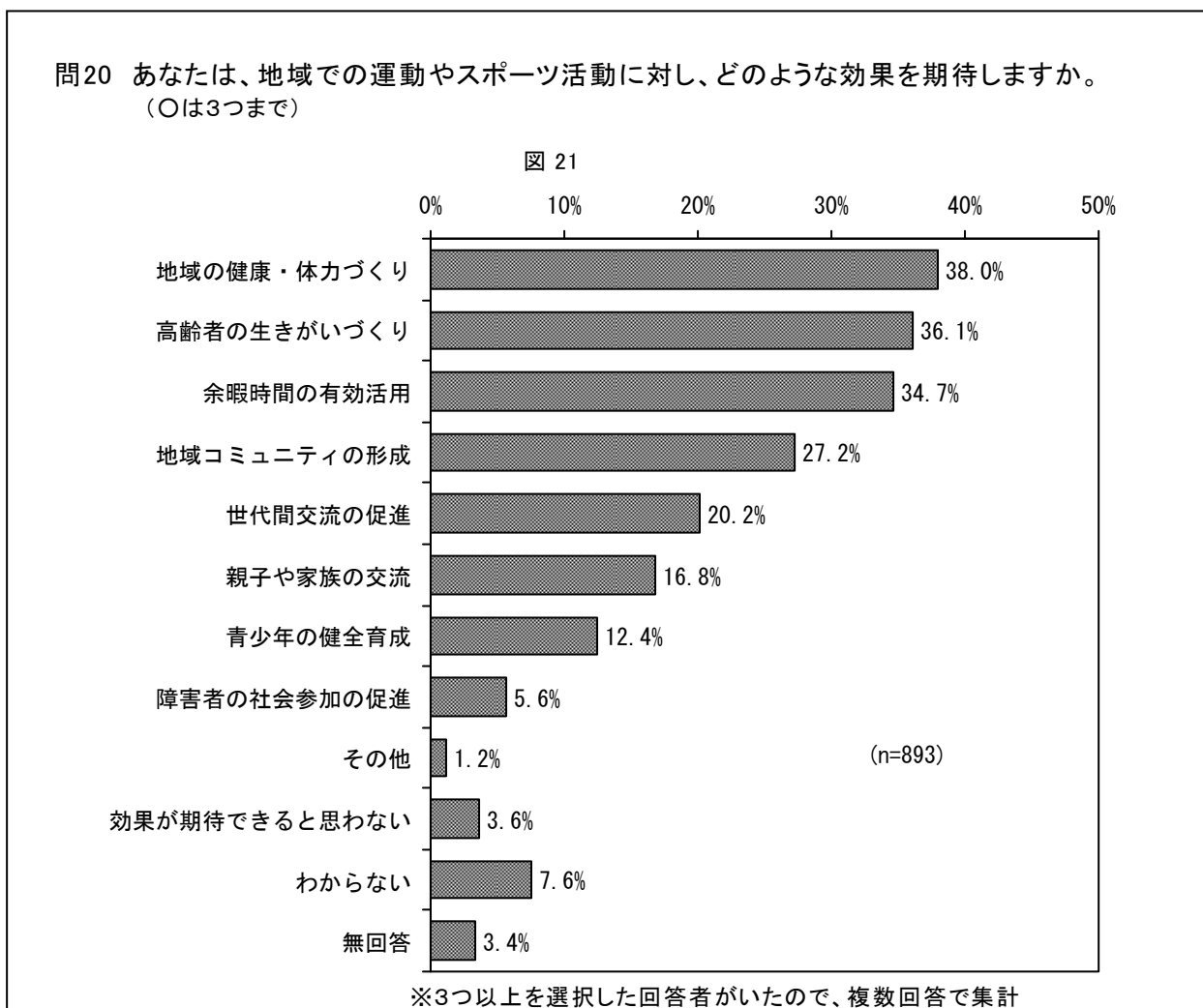
居住年数別にみると、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」は5年未満の居住者(62.0%)、5～9年の居住者(59.2%)で比較的多くなっている。(図 20)

図 20 運動やスポーツを行う際の指導者に必要なこと(居住年数別)



(4) 地域での運動やスポーツ活動に対する効果

◇「地域の健康・体力づくり」が4割近く。

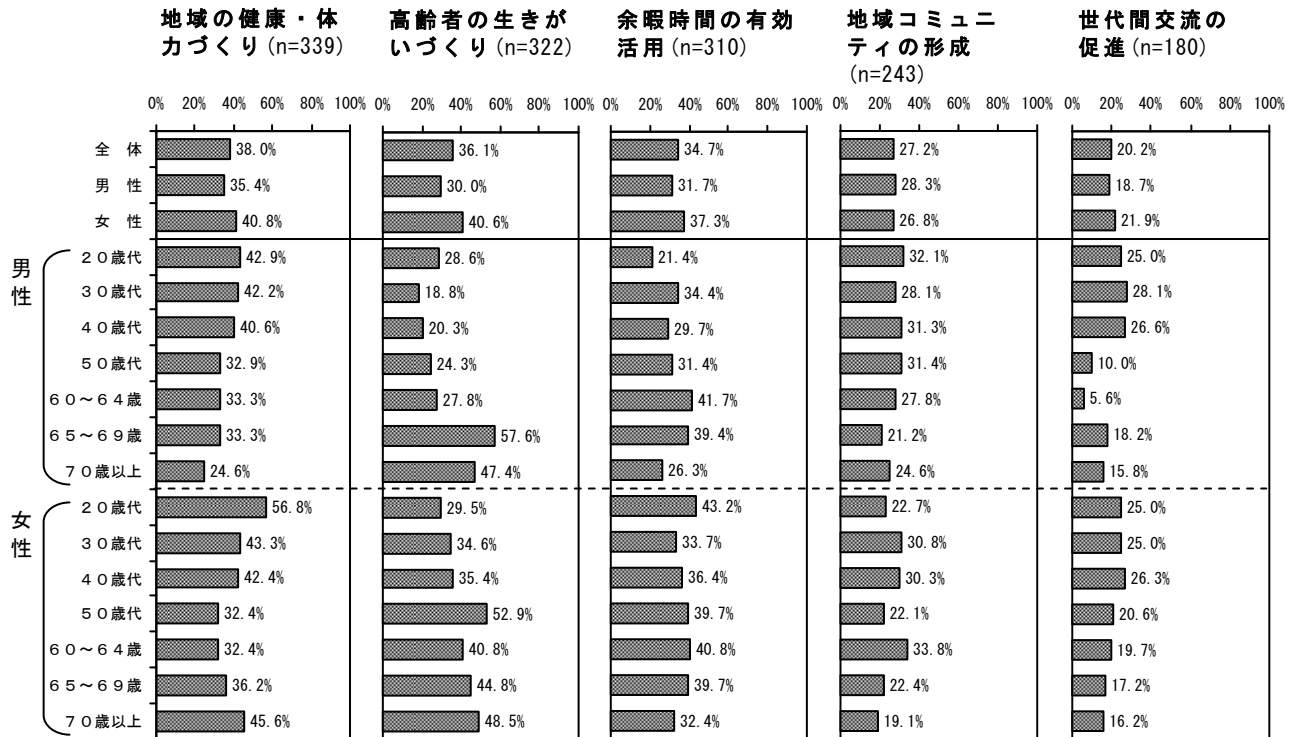


地域での運動やスポーツ活動に対して、どのような効果を期待するか尋ねたところ、「地域の健康・体力づくり」(38.0%)が4割近くで割合が高く、以下「高齢者の生きがいづくり」(36.1%)、「余暇時間の有効活用」(34.7%)、「地域コミュニティの形成」(27.2%)、「世代間交流の促進」(20.2%)と続く。(図 21)

性別にみると、「高齢者の生きがいづくり」は女性(40.6%)が男性(30.0%)より 10.6 ポイント高い。

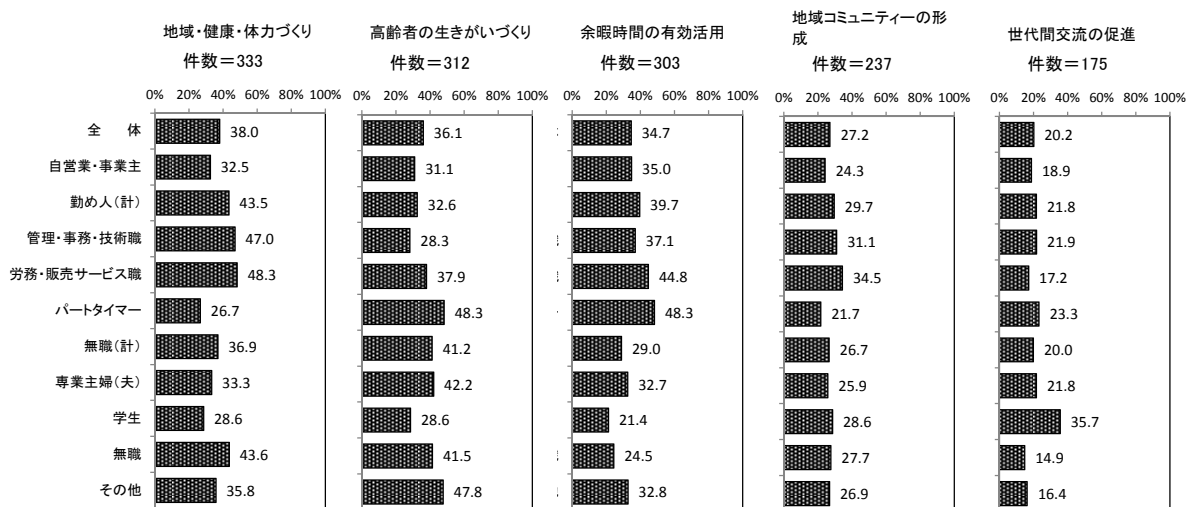
性・年代別にみると、「地域の健康・体づくり」は女性 20 歳代(56.8%)、「高齢者の生きがいづくり」は男性 65~69 歳(57.6%)、女性 50 歳代(52.9%)が5割台で割合が高い。(図 22)

図 22 地域での運動やスポーツ活動に対して期待する効果(性・年代別)-上位 5 項目-



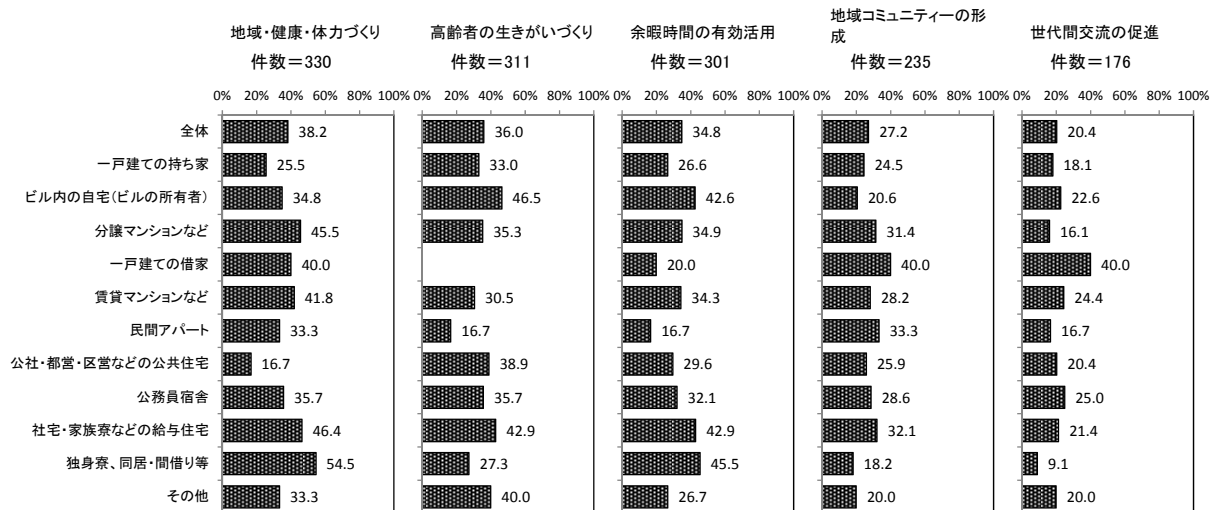
職業別にみると、「地域・交流・体づくり」はパートタイマー(26.7%)が少なく、「世代間の交流」は学生(35.7%)が多くなっている。(図 23)

図 23 地域での運動やスポーツ活動に対して期待する効果(職業別)-上位 5 項目-



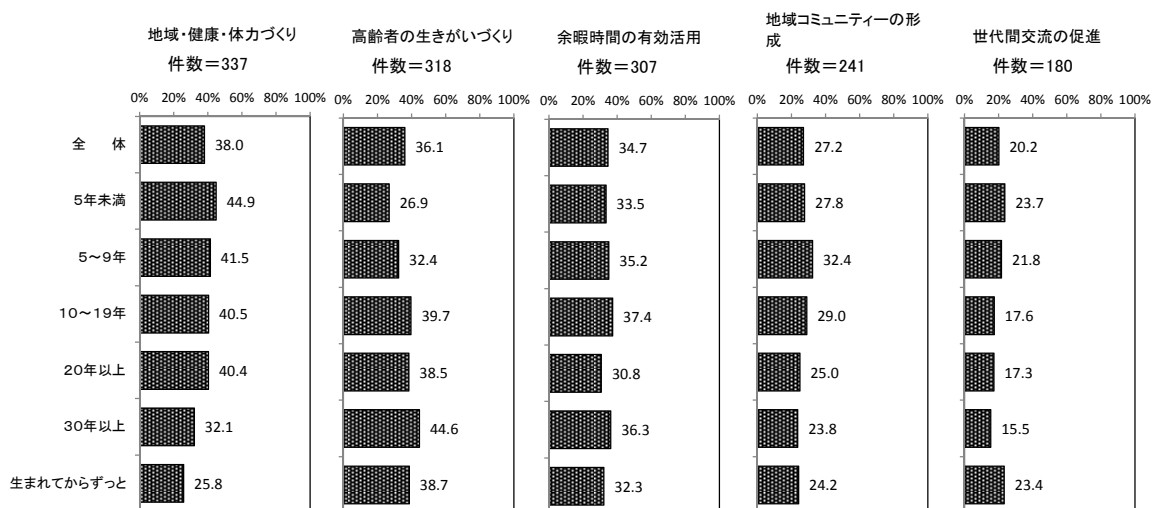
住居形態別にみると、「世代間交流の促進」は一戸建ての借家(40.0%)と多くなっている。また「青少年の健全育成」は独身寮、同居・間借り等(45.5%)、一戸建ての借家(40.0%)で多くなっている。(図 24)

図 24 地域での運動やスポーツ活動に対して期待する効果(居住形態別)-上位 5 項目-



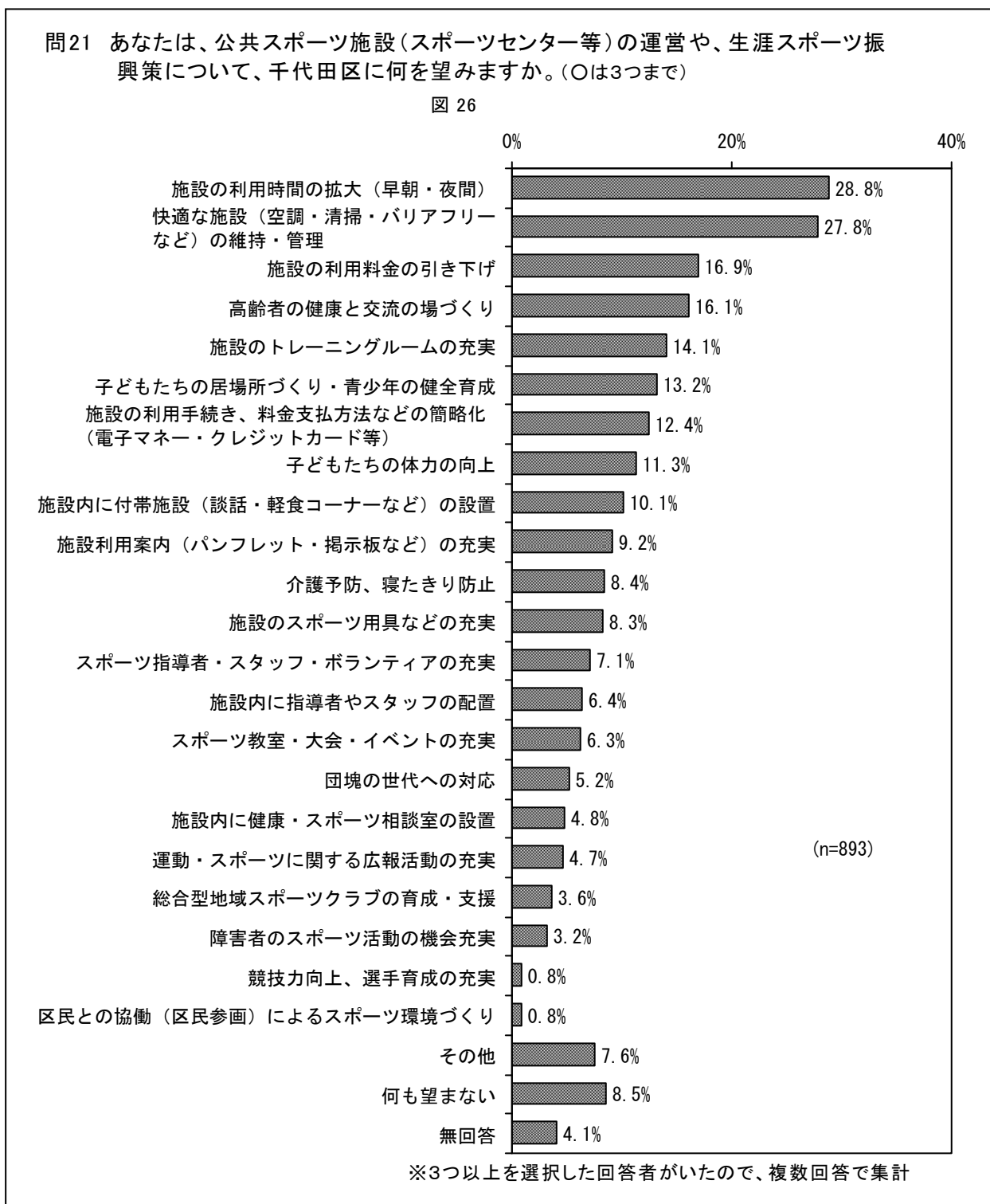
居住年数別にみると、「地域・健康・体力づくり」は30年以上の居住者(32.1%)で少なく、逆に「高齢者の生きがいづくり」では30年以上の居住者(44.6%)が比較的多い。(図 25)

図 25 地域での運動やスポーツ活動に対して期待する効果(居住年数別)-上位 5 項目-



(5) 公共スポーツ施設の運営等について千代田区に望むこと

◇「施設の利用時間の拡大」、「快適な施設の維持・管理」が2割台。

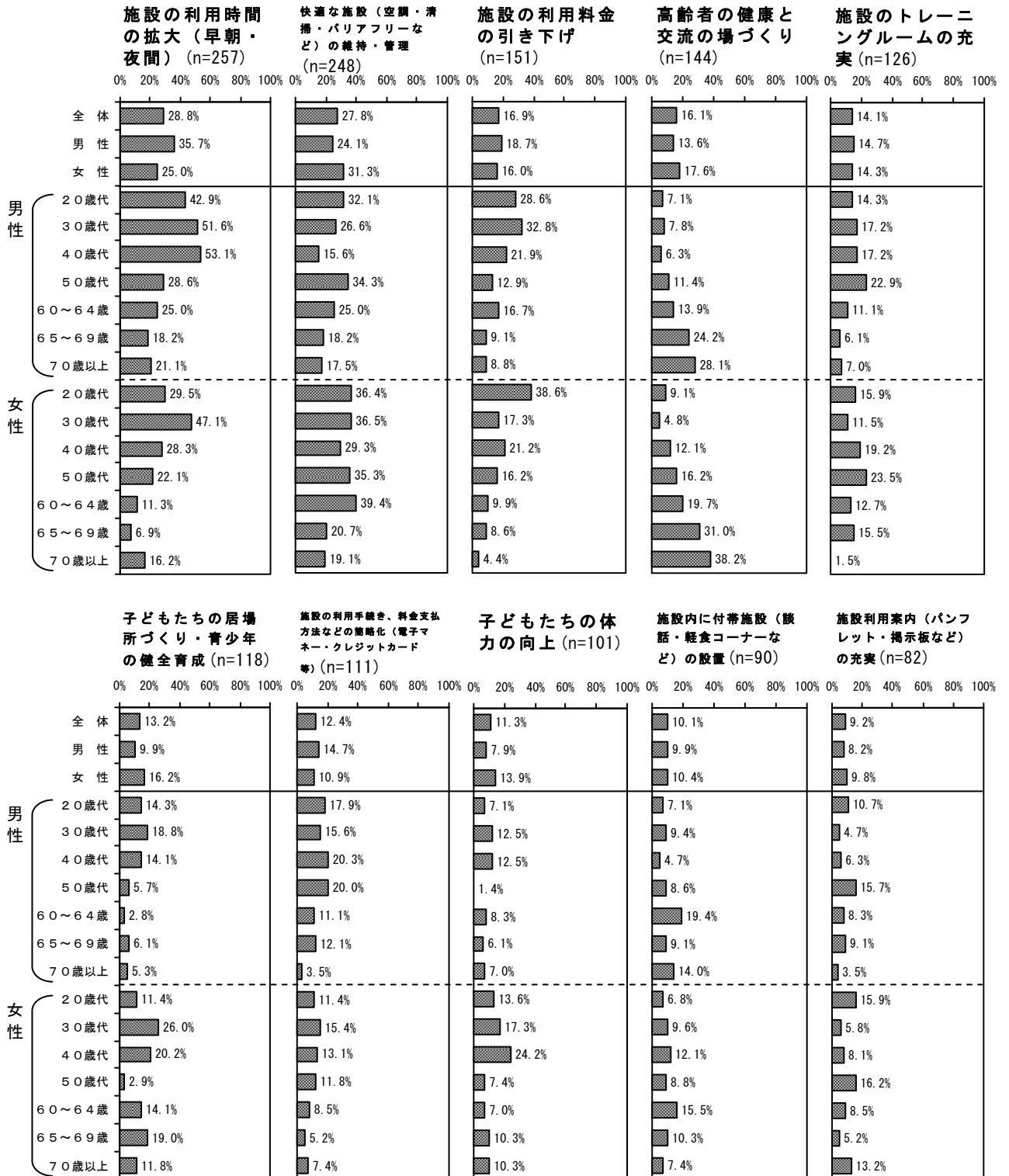


公共スポーツ施設(スポーツセンター等)の運営や生涯スポーツ振興策について区に望むことは、「施設の利用時間の拡大(早朝・夜間)」(28.8%)、「快適な施設(空調・清掃・バリアフリーなど)の維持・管理」(27.8%)が2割台で割合が高く、以下「施設の利用料金の引き下げ」(16.9%)、「高齢者の健康と交流の場づくり」(16.1%)と続く。(図 26)

性別にみると、「施設の利用時間の拡大(早朝・夜間)」は男性(35.7%)が女性(25.0%)より10.7ポイント高い。

性・年代別にみると、「施設の利用時間の拡大(早朝・夜間)」は男性 40 歳代(53.1%)、30 歳代(51.6%)が5割台で割合が高い。(図 27)

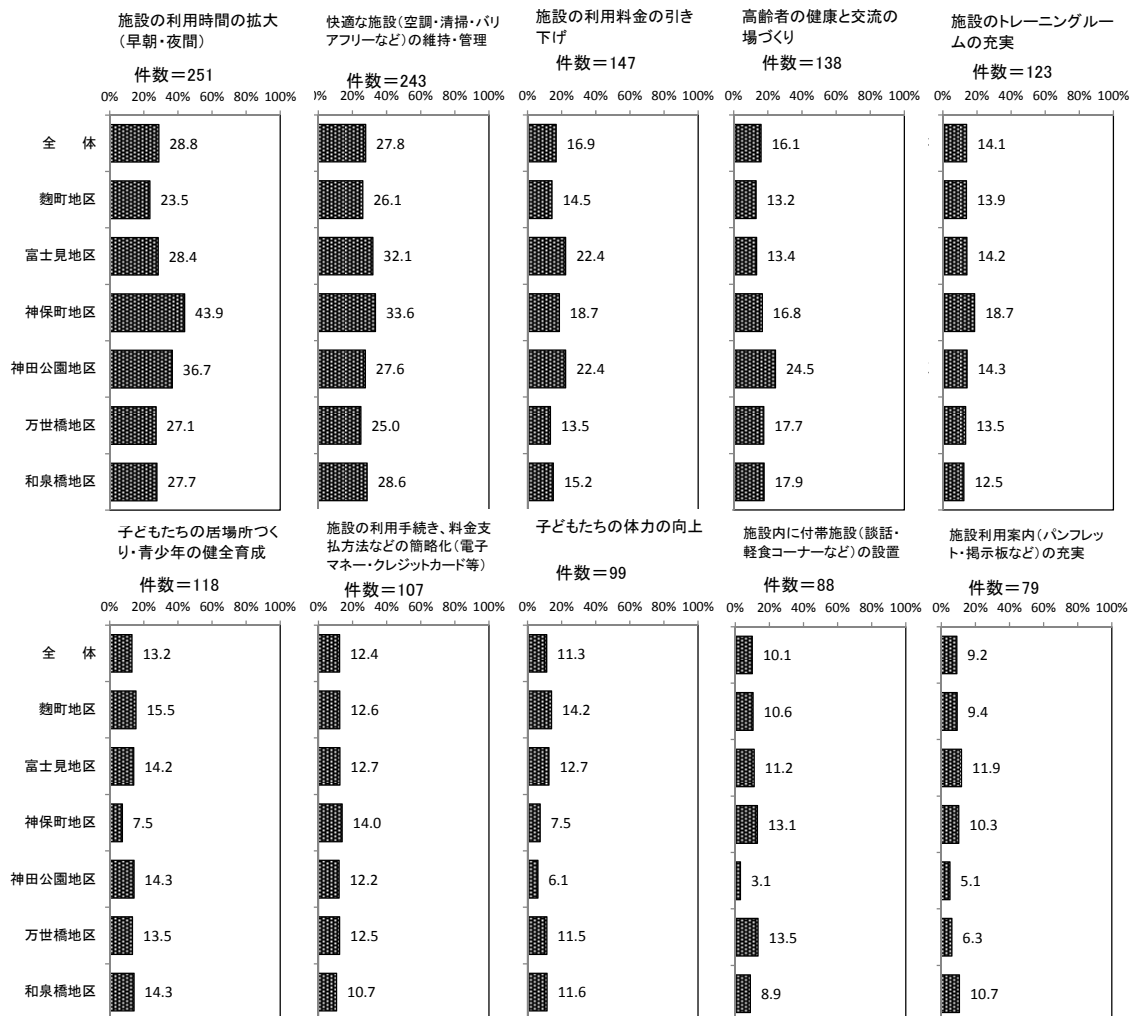
図 27 公共スポーツ施設の運営や生涯スポーツ振興策に望むこと(性・年代別)-上位 10 項目-





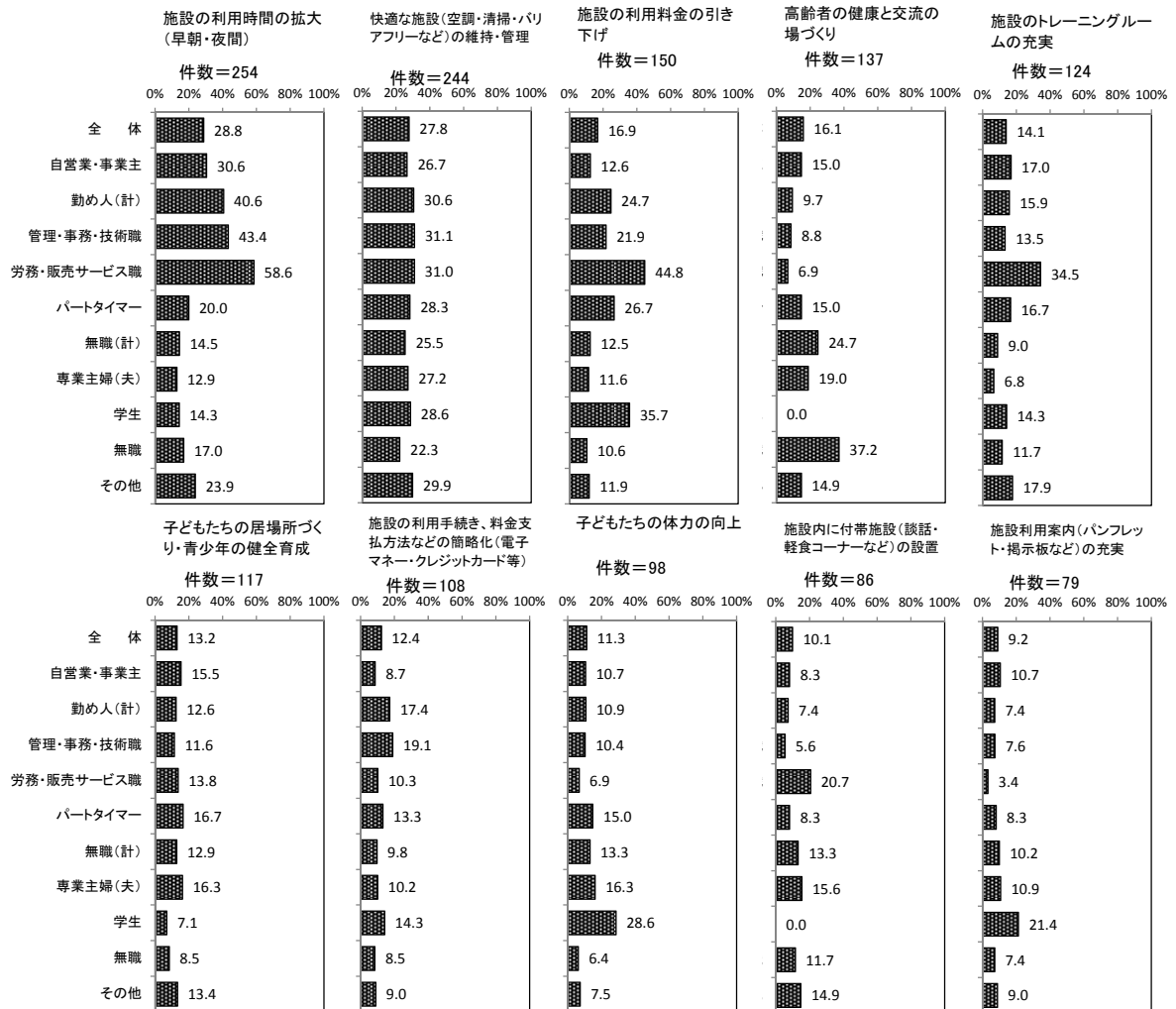
地区別にみると、「施設の利用時間の拡大(早朝・夜間)」は神保町地区(43.9%)が多く、次いで神田公園地区(36.7%)が多い。「快適な施設(空調・清掃・バリアフリーなど)の維持・管理」は神保町地区(33.6%)、富士見地区(32.1%)が比較的多い。(図 28)

図 28 公共スポーツ施設の運営や生涯スポーツ振興策に望むこと(地区別)-上位 10 項目-



職業別にみると、「施設の利用時間の拡大(早朝・夜間)」は労務・販売サービス業(58.6%)が多く、専業主婦(夫)(12.9%)、学生(14.3%)、無職(17.0%)で少ない。「施設の利用料金の引き下げ」は労務・販売サービス業(44.8%)、学生(35.7%)が多い。(図 29)

図 29 公共スポーツ施設の運営や生涯スポーツ振興策に望むこと(職業別)-上位 10 項目-



居住年数別にみると、「施設の利用時間の拡大(早朝・夜間)」は5年未満の居住者(40.0%)、5～9年の居住者(36.6%)が多い。「高齢者の健康と交流の場づくり」は30年以上の居住者(28.5%)、生まれてからずっとの居住者(25.0%)が多い。(図30)

図30 公共スポーツ施設の運営や生涯スポーツ振興策に望むこと(居住年数別)-上位10項目-

